

平成 27 年 6 月 7 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時 ヴァイオリンによる音楽ミサ・誕生祝福式

司会・祈祷・聖書朗読 : 菅原 岳牧師

奏 楽 : 米田 香姉

さんび : 新聖歌 343 「ああ恵み」

「あがめます主の御名」

三つの愛 :

聖書箇所 : ルカによる福音書 3 章 1 節 ~ 6 節 (P.87)

メッセージ: 「荒野における不思議」 菅原 岳牧師

ヴァイオリン・ミニコンサート : 平野裕子姉

賛美と献金 : 新聖歌 233 「驚くばかりの」

頌 栄 : 新聖歌 162 ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

祝 禱 :

報 告 :

【瀬戸ニュース】

- ◇ 本日は平野裕子さんをお迎えしてのヴァイオリンによる音楽ミサです。皆様を歓迎いたします！！
- ◇ ネパールのための援助献金の御協力をありがとうございました。関係団体に送金後ご報告いたします。
- ◇ 次回の音楽ミサは7月5日(日)に川口紗奈江さんをお迎えしてもたれます。祝福のためにお祈り下さい。
- ◇ 「祈りの課題」用紙をご記入の上 受け付け脇のポストにご提出下さい。牧師がお祈りいたします。
- ◇ 祈祷会 木曜 10 時半、土曜掃除 10 時半 祈祷会 11 時 15 分
- ◇ 祝大 A コース ヨハネ 12 章~16 章 B コース 歴代志下 1 章~22 章

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成27年6月14日] [聖餐式]
[司会:赤塚敏郎兄、いのり:下岡晶子姉、聖書朗読:持田樹理姉]
[ピアノ:片岡立子姉、リード:大神 雄兄]
[アシスト:大神久美姉、大神美乃姉]
[献金:赤塚孝子姉、岡田久枝姉][受付:太田昌子姉]
◇PA:平松章治兄、岡前順勝兄 ◇週報編集:片岡洋一兄
◇ホームページ編集:大神真伸兄 ◇日曜学校:大神久美姉



わたしは、彼らが神に対して熱心であることはあかしするが、その熱心は深い知識によるものではない。

ローマ人への手紙10:2

今日は楽しみにしていた平野裕子さんをお迎えしての音楽ミサ♪
先週からウキウキしていたら、頭から冷水をかけられるような報道があった。コンサートを楽しみにしておられる方々が「牧師から油をかけられたらどうしよう?」と心配しておられたらどうしよう?と私も心配になりました。そのような事はいたしませんので、ご安心を。

旧約聖書では、神殿のものを聖別(日常のものとは分け隔てる=例:聖別した神殿の器では、ご飯を食べたりしない)したり、王や祭司が任職される時に油を注ぎます。それは聖別であり、神の力がその人物に注がれる事の象徴です。新約聖書にも「病人に油を塗って祈りなさい」とありますが、聖霊なる神様が力をもって触れて下さる事の象徴です。異教的なものを「おきよめ」する方法ではないのです。

何ゆえ、よそ様の大切なもの(重要文化財等もある)に油を撒くなんて乱暴な事を考えたのか?そこには「自己流」の怖さと、浅薄な思考、知識の欠如があるように思います。私はこのような『信仰による疎外』を容認しない立場ですが、その一方で誰もが、このような間違いを犯しうるのかもしれないとも思うのです。

「私が一生懸命だったから」、許される訳ではありません。例えば、自分の子育てを振り返って見ただけでも、「お父さんなりに一生懸命」な事は子ども達には関係がなく、「一生懸命でなくても良いから、愛をもって正しく接してくれた方が良かった」と言われてしまうでしょう。(スマン息子達よ!和解済みだけど。)

神様は人間をロボットのようにではなく、失敗する可能性があっても自由意思を与えて下さいました。それを人間が認めないのは高慢であると言わざるをえないでしょう。お互いの人格を認めるという事を大切にしていって、それがイエス様の喜ばれる歩み方だと信じます。

アンナとカヤパとが大祭司あつたとき、神の言が荒野で
ザカリヤの子ヨハネに臨んだ
(ルカによる福音書三章二節)